

薬学教育協議会 衛生薬学担当教員会議 2023（令和5）年度活動報告

【第18回 薬学教育協議会 衛生薬学担当教員会議】

1. 日 時：令和6年2月22日（木）15時00分～17時00分〔受付：14時15分より〕
2. 場 所：近畿大学東大阪キャンパス 38号館9階 S901
3. 出席者：80名（65大学） 情報交換会：60名
4. 議 題：

令和6年度入学生より薬学教育モデル・コアカリキュラムへ変更されることを踏まえ、安衛法の改正に関するトピックスおよびビッグデータの解析に関連する疫学研究についての2つの講演を開催し、意見交換を行った。

講演1では、和久 純也 先生（パナソニック健康保険組合 部長）から「職場の化学物質管理における産業薬剤師の役割」について講演頂き、安衛法の改正点や労働環境衛生領域における現場での対応について共有する場となった。講演2では、磯 博康 先生（国立研究開発法人 国立国際医療研究センター・国際医療協力局 グローバルヘルス政策研究センター長）から「疫学・公衆衛生学と薬学 ―薬剤師に求められる新たな役割―」について講演頂き、疫学研究の重要性やこれから求められる薬剤師について共有する場となった。また、新コアカリにおける衛生薬学（E）領域においても感染症の項目が増えており、これまで以上に重要であることを認識する機会となった。

連絡事項として、第109回薬剤師国家試験問題検討委員会は、5月11日（土）に北里大学で今井 浩孝先生が委員長として開催すること、鍛冶 利幸先生（東京理科大学薬学部薬学科）の最終講義が3月2日（土）に東京理科大学神楽坂キャンパス 富士見校舎 F101 教室（ハイブリッド形式）で開催されるとの報告がなされた。

閉会の挨拶として原 俊太郎 先生（環境・衛生部会長 昭和大学薬学部 教授）より衛生薬学領域における新コアカリに向けての総括がなされ、薬学教育協議会衛生薬学担当教員会議の次期委員長は、香川聡子（横浜薬科大学）先生にお願いすることとなった。

5. 資 料：1. 出席者名簿
 2. 講演1資料（リーフレット別添）
 3. 講演2資料
6. 委員長：川崎直人（近畿大学薬学部）
7. 幹 事：小椋康光（千葉大学）、香川聡子（横浜薬科大学）、神野透人（名城大学）、中西 剛（岐阜薬科大学）
原 俊太郎（昭和大学）、松沢 厚（東北大学）、渡辺徹志（京都薬科大学）、川崎直人（近畿大学）
8. 令和6年度 次期委員長は、香川聡子（横浜薬科大学）先生にお願いする。